

DOYU

あおもり

2020 Dec

12

vol.236



01 第19回経営研究集会

04 女性部会全県&下北支部合同例会

05 共に生きる障がい者問題委員会勉強会／2021新春例会PR

06 会員企業紹介

07 新会員紹介／編集後記

第19回経営研究集会

基調講演 「中小企業は負けられない」 ―コロナ禍を生き抜き、共に未来を切り拓こう―

2020年度の経営研究集会は新型コロナウイルスの感染予防として県内5支部で会場を設けてパブリックビューイング形式で開催されました。

日時 2020年10月23日15時

講師 中小企業家同友会全国協議会

会長 広沢 泰久 氏
(前ヒロハマ・代表取締役会長)

自己紹介

当社は主に業務用の缶容器に使われるキャップを専門に作るメーカーです。同友会で勉強させてもらったおかげで業界トップシェアにまで成長しました。

同友会には1990年に千葉で入会、5年目で千葉同友会の代表理事、2007年に中同協の幹事長、2017年からは会長を務めています。

私は同友会に入会してからと役員になってからで2つのことをモットーにしています。1つ目は「学んだことは必ず実践すること」。もう一つは「無駄なく活動すること」です。せっかくの良い気付きもメモするだけで終わってしまつては意味がありません。私は実践するための方法として自分のスケジュール表に具体的行動を記入しました。もう一つの「無駄なく活動すること」は、熱心に活動していると次第に役目（役職）が回ってくるようになります。その中で周囲との温度差が生じたり、調れない批判を受けたります。批判を受けることは、前を射た批判は真摯に受け止めて改めるべきですが、そうでない場合は笑って受け流すというこです。常にリーダーの機嫌が良ければそれだけで周囲は安心します。これは職場・家庭でも同じではないでしょうか。

コロナ危機・ポストコロナをどのようにとらえて、展開するか？

国内外の状況を見ても感染リスクはこれから続くでしょう。また、ここからV字回復することもないでしょう。落ち着くまで2、3年かかることを覚悟して

おく必要があります。現在は米中摩擦、消費増税、コロナ危機が重なった「複合不況」の状態です。中同協ではコロナ危機が始まった当初から「一社もつぶさない」ということを各方面に発信してきました。しかし、ここへきて政府が中小企業の減少に対して容認するかのよう報道も散見されます。中小企業は地域にとってなくてはならない存在であることは会を挙げて広めましょう。

厳しい状況が続く中、政府や行政による支援がいつまでも続くと考えられませんが、そのために、中小企業自身による自助努力が大切です。そこで同友会の出番です。企業づくり、地域づくりに加えて、中小企業のステイタスを向上させることも大切な運動です。

企業として求められる対応

コロナ危機に直面して企業としてまずすべきことは資金確保です。DOR（同友会景況調査報告）では6、9月期で前期よりも資金の余裕度が高く、万が一に備えていけるということがわかりました。一方で日本銀行が実施している景況調査（日銀短観）では結果が違い、中小企業の資金繰りが悪化との結果です。同友会メンバーがしっかりとキャッシュフローを用意していることが何える結果です。当社は子会社も含め普段から売上の2ヶ月分を確保するようにしています。

もう一つは金融機関の目利き力を補う「情報提供」です。金融機関と良好な関係を築き、保つために情報共有を欠かさないことが重要です。今回のコロナ禍で借り入れを厚くした企業も、いざ返済する時が来ると、その時に向こうから「また借りてください」と言われるようになること。これが企業の自助努力が必要となる所以だと思います。そこで同友会での経営指針の学びが生きてきます。大切なのは科学性、社会性、人間性の考え方です。社会性はいかに社会にお役立ちをして存在価値を認められるか。人間性は人間尊重の経営、人を生かす経営の重視です。

そして科学性。これは社会性、人間性を向上させるためには外せない要素です。そのために人時生産性を向上させることが大切になってきます。コロナ禍によって以前からしっかりとやっていたなければならぬことが改めて浮き彫りになっています。これはまたとないチャンスです。今こそ、様々なことに取り組む時です。

同友会の立ち位置と使命

企業づくりにおいて、同友会が持つコンテントが大変有効です。具体的には「企業変革支援プログラムステップ1」～「人を生かす経営（労使見解）」（経営指針）文化と実践の手引き」です。諸先輩方は何もないところから歴史を作ってきたに違いない。我々はそうした成果の上に立って、一番美味しいところを使わせてもらえます。それを使わない手はありません。経営指針を文化化した「だけ」では意味がありません。指針に基づいた経営を実践して成果を出すことが大切です。そして同友会のメンバーだけが取り組んでいられないというのではなく、苦しんでいる中小企業経営者にも会外発信していくことが大切です。そうしなければ地域が良くなっていきません。一緒に勉強しましょう、という声かけが大切です。

中小企業のステイタス向上も重要です。2019年に「中小企業の日（7/20）」が制定されました。同時に7月は中小企業魅力発信月間になっています。これに呼応してアクションを起こした経済団体は同友会だけです。赤石義博さんが書いた「人間の尊厳」と中小企業」の中で中小企業で働くことが誇りに思えるものとする風潮のことです。こうした状況を作り出しているのは実は中小企業自身だとする指摘があります。その意識改革のためには同友会が先頭に立って取り組んでいくことが大切です。

文責・事務局 栗谷

Oct, 株式会社 オクト

青森県知事許可（般-24）第100121号
〒030-0852 青森市大字大野字鳴滝87-14
TEL:017-762-5223 FAX:017-762-5224

◆事業内容◆

- 内装仕上工事（軽鉄・ボード・床・クロス）
- タイル・石工事
- ビル・住宅リフォーム工事

屋根・外壁・リフォーム工事
板金工事の専門会社です。

有限会社 工藤板金工業

〒039-1161 八戸市大字河原木字北沼 22-17
TEL 0178-29-1855 FAX 0178-29-1833
<http://www.kudou-bankin.co.jp/>

今回の経営研究集会では、コロナ禍にあつて初めてのリモートでの基調講演が行われました。そして青森県内各支部ともリモートでつなぎ新しい形での経営研究集会となりました。

青森会場の様子は座長や室長、実行委員長が同会場にいたためスムーズに行うことができたと思います。各会場の様子は映像で見ることができましたが、初めてということ、会場ごとに映す角度が違ふことや、リモートのグループ討論ができる機能の使い方など、これからの検討材料だと感じました。しかし、グループ討論になるといつもと変わらない形でしたので熱く語り合い、そしていつもと同じく時間が経つのも忘れあつたという間でした。

このような新しい形での講演会や会議などはまだまだ模索中で、どのようなやり方になっていくのかその時の情勢や会の方針で変わってくるのだと感じます。これからは、予定が合わず、会場に来ることができない人でも、各場所において基調講演を聞くことができるようになるのもリモートを導入したメリットではないかと感じる一方、対面



してグループ討論をする大切さを感じています。リモートでは感じるこのできない、その人の目や話し方や聞き方。よい経営者になりたいという想いの強さ。参加して、少しでも何か学び、気づいて帰ることができたら、ちよつとだけ成長したと実感できると思います。

記・鹿内 麻矢



上十三支部は十和田市市民交流プラザ「トワーレ」を会場として行いました。大型スクリーンに講師を映し、その前に415人のテーブルを4箇所配置して講演を聞きました。音声が届いた箇所がありました。音が遠くで聴き取ることができ、内容を把握するには全く問題のない程度で、参加者は真剣に聞いていました。動画は滑らかで、近くで視聴することができたので迫力がありました。

（グループ討論）

グループ討論は声が聞こえる程度に席の間隔を開け、いつも通り行いました。新型コロナウイルス感染症でお客様との接し方に工夫をしていることや、自社を見つめ直す機会となつていくことなどの意見が出されました。この状況で、今までと違った自社の課題が見えてきているので、新しいことへの挑戦や、自社の改革などできることから始め、3年後には昨年より良い会社にしていきたいと前向きな討論になりました。

（まとめ）

「集まる」ということに抵抗を感じる世の中ですが、逆境を



バネにして前向きな姿勢で一緒に学ぶことができた貴重な時間だと感じました。変化が求められる時代ですが、色々なツールを使い、人と触れ合うことで自分自身の学びにつながり、会社や地域をより良くしていければと思います。

記・上久保 聖一



もっと素敵に環境創造



総合建設業
株式会社

大坂組

〒030-0933

青森市大字舘沢字岩田51-1

電話 (017) 726-2461

FAX (017) 726-7009

運輸部 (017) 726-7007

八戸会場

（会場の様子）
八戸会場となったHOCコネクトは7月にリニューアルしたばかりの施設。初めての大掛かりなオンライン講演ではネットワーク環境が最新の状態で使え、音響や大きなスクリーンは聞きやすき見やすかった。参加した人にもストレスがなかったと思う。

（グループ討論）

同友会の経営方針の中に10年ビジョンの大切さをうたっているが、討論テーマに「3年後の自社は」となっている。新型コロナウイルスの影響により長期的な見通しが辛いのが現状という意見や、新規雇用を考へていたが現在慎重になっているという意見が出た。前向きな方では、社員の多能工化ではなく企業として業態の多様化を考へている意見やMIDCVS（※）を再確認、再構築し社員と共有する作業に入っているという意見も出た。

（まとめ、八戸会場）

コロナ禍という平時とは違う状況の中で、3年後にも今のお客さんが変わらないうちに存在しているか、売上利益はあるのか、強みの商品は変わらなければいけないのか、ということ考へておかなければならないと思う。特に形には見えない自社の強みを明確にし、社員と共有できているかということ、が大事になってくると思う。また、同友会で学んだ事を実践し、同友会運動をしつ



かりやっていくことが自社の生き残り、仲間と共に発展していくことにつながる」と感じた。

記・高橋 利典

津軽会場

（会場の様子）

津軽会場は大崎町地域交流センター「つるぎ」の多目的ホールを使って行われました。大きなスクリーンにプロジェクターで映し出して途中少しの映像が時間止まったりしましたが全体的にとっても見やすく聞きやすかったです。

（グループ討論）

「3年後の自社は」どうなっていますか？そのために今、何をしていますか？」という討論テーマのもと、新型コロナウイルスの影響を受けて、マイナスイメージに考へるのではなく、3年後に余力ができるように違う分野でしっかりと利益を確保できるように経営をしていくという意見が出ました。また、今少し苦しい状況だが100年企業を目指していくために新規雇用を積極的に行っていくという意見も出ました。

（まとめ）

新型コロナウイルスは様々な業種に影響を与えています。逆にピンチをチャンスととらえて自社のやるべきことは何だろうか？自社の強みは何だろうか？と改めて考へ明確にし、社員と共有する良いきっかけだと思えます。同友会で仲間と共に学び、実践していくことで共に成長していくことができると感じました。

記・加藤 人士



下北会場



下北支部は7名で学びを深めました。会場のスクリーンも大きく、音響もよく聞こ

え、各会場の雰囲気なれど感じ取れたので、ZOOM参加に違和感はありませんでした。ZOOMを使っている方、初めての試みで、全体的に大きな

通信障害もなく、スムーズに進んだと思います。ただ、新しい形での進め方だったので、各会場の画面の映し方、座長、室長の切り替わり、表示画面の共有や直接会場に参加できない会員にも、後日動画を配信できないか、各自のパソコンで参加することで多くの会員と学びを共有できるのではないかと意見も挙がりました。事前準備や会員への声かけ、実行委員会と各支部幹事の情報共有等課題があったと感じました。

基調講演後のグループ討論では、年々地域の若者達が少なくなっている中、中小企業へどう目を向けさせるのか。3年後を見据えて社員さんと協力し、前へ進んでいきたい。厳しい時代になったが、しかたない。世代交代等うまくいかない事が多いが、若者が働きやすい環境を作って行きたい。と、前向きな討議が交わされました。

コロナが収束したら、また一堂に集まり学びを共有し、想親も園りたいと思います。

記・事務局・松田



お試し入店スマホアプリ
ぶらりんタウン
Burarin

株式会社サン・コンピュータ 青森県八戸市五反田一丁目5番10号
お問合せ TEL 0176-21-1258

気になるお店や
行ったことのないお店
「ぶらりんセット」
無料でお試し体験！

まずは
ホームページを
チェック！



産業廃棄物収集運搬・処分業
建築・土木・管工事業



青森県上北郡東北町字柳沢59番地21
東管工業株式会社

代表取締役 蛭 沢 宮 行

TEL 0175-63-4450

FAX 0175-63-4467

女性部会全県&下北支部合同例会

日時 2020年9月23日 18:00
於…むつグランドホテル

「創業60周年に向けた私の仕事」

報告者：ササキ石油販売株式会社 代表取締役 佐々木千佳子氏



当社は再来年(2022年)8月に60周年を迎えます。昭和37年にスタンド業、39年にプロパンガスの販売を始めました。検針の為に1件1件顧客を巡回した事が今でも財産になっています。嫁いで50年になりましたが、その間社員の事故など大変な出来事も多々ありましたが、特に先代である主人が亡くなったからは男性社会の中にあって女性経営者として苦勞も多々ありました。

12年前に専務(注：現・代表取締役専務・佐々木佳弘氏)が仙台から戻り、大企業でのやり方を当てはめようとする考え方の違いから、何度もぶつかりました。しかし「私たちは命に関わる仕事をしている」という事を、時間をかけて理解してもらい、今では一人ではできなかった決断を一緒に考えてもらう関係になっています。

人とのつながりと、私「らしく」、アルバイトであってもプロ「らしく」あるという事を大切にしています。そして二年後の事業承継に向けて、会社や事業だけでなく、たくさんのお客様を引き継ぎ、社人情を大事にした商売を引き継ぎ、そして人の気持ちを引き継いで、2022年の記念式典で皆様にお披露目する予定です。

記・木村 美栄子



「貴女らしい輝きへ」



女性部会長 岩木 節子
南岩木建設・専務取締役

コロナ感染禍の中、県内での小規模の時期と重なり無事に「女性部会全県&下北支部合同例会」を開催することができました。全県の女性部会・下北支部会



員・他男性会員の方々が青森県最北の地・下北半島のむつ市に集まりました。今回の例会は、下北地区の女性部会員の自主的な企画運営での例会と、地区の特性を生かしたおもてなしもあり、参加された方々は驚きと喜びで圧倒されたことと思います。何度か打ち合わせを重ねた行動と気遣いには、下の部会員と今後が期待されます。地区から新たに3名の方々が部会員となり、笑顔があり青春同友会の華々しさとお陽さまのような無敵のパワーを感じました。

報告者のササキ石油販売株式会社の代表取締役・佐々木千佳子社長は多方面に於いて社会貢献をされており、広い分野で活躍をされているひとりで、先般、十和田市の道の駅に入籍、今後の手帳に期待が集まっています。

部会の本年度の活動方針は地区・全県の部会員との交流、経営実践報告や企業訪問、女性経営者全国交流会等へ参加すると掲げました。地区や環境の違いで、感覚も違いますが、当たり前のことで、人と関わることで成長していきます。

私が同友会に入会した20年前の男女の扱いに差があった時代とは大分世の中が変わり、女性の進出と活躍が目立つ様になりました。変化に順応しやすいのが女性の特長なのではないでしょうか。

女性部会は会員の為の会です。例会に参加し続け、本音で聞かれる経営者仲間を増やし、良い縁とよい経営を創るきっかけになればと思います。部会活動と例会参加は気づきと経営の玉手箱です。主役は貴女です。貴女らしく輝く経営者が増えてほしいと願います。

鈴木建設工業株式会社
SUZUKI KENSETSU CO., LTD.
〒033-0062 三沢市新町三丁目 31 番地 2201
TEL 0176-53-3078 FAX 0176-53-9800 suzukikensetsu.co.jp

ササキ石油販売株式会社
SASAKI
私たちはエネルギーを求め、くらしのゆとりを育てる企業を目指します。
本社：十和田市大字奥瀬字小沢口425-3
☎0176-72-2026内 sasaki-gs.com
十和田駅前CS 0176-72-2028 A.M.1CS 0176-25-2311
車検・東北運輸局認証自動車整備工場・LPガス・灯油・重軽油
各種住宅設備機器・水道設備工事・太陽光発電システム

JIN 経パルジンサンプール
〒036-0114 青森県平川市町居南田170-6
TEL 0172-44-2160 FAX 0172-44-2306
http://www.jinpachi.co.jp/

共に生きる障がい者問題委員会勉強会

「動きを止めるな！」

日時：2020年9月25日14時
於：青森県武道館



今回の委員会は、久しぶりの津軽での開催となった。これから避けて通ることが出来ない、障

がいを持った方の一般企業での就労。その第一歩となる「実習」について、弘前大学教育学部附属特別支援学校で進路指導を担当する棚内伸子氏を迎えての勉強会とした。実習開始に向けた学校の授業内容やマッチングの流れをご紹介いただき、実際に実習を受け入れた企業の声などもわかりやすくご紹介いただいた。お話しの中で弘前市は官民関わらず障がい者雇用への理解と実践が進んでいると感じられた。

当日は八戸地区の委員が200名で参加し講演を聞き、2つの会場それぞれでグループ討議を行い、理解を深めた。現状ではリモートを取り入れた活動は不可欠になっている。「中小企業家しんぶん」でも紹介されていたが、「ソーシャル（社会的）ディスタンス」ではなく「フィジカル（身体的）ディスタンス」を意識するべきだと強く感じた。身体は離れても気持ちは離さない。社会的に距離が

開くと産業や雇用の停滞を生む。できることは小さくとも諦めずにやり続けることが大切だという思いを参加者一同で確認した勉強会となった。

同友会理念に照らし、「障がいを持った人と共に生きることが当たり前の社会の実現」を目的に委員会は活動している。一人でも多くの会員の皆さんに関心を持って頂き、活動に参加していただきたい。今後も学校、行政、支援施設そして企業の連携を大事にしながら様々なことに挑戦していきたい。

共に生きる障がい者問題委員長

田中 桂子
（南ローズリー資源・代表取締役）



日時 2021年2月18日（木）15:00～（14:30受付）

会場 南田温泉ホテルアップルランド

講師 南リングミュージック

代表取締役 樋川 新一 氏

テーマ 置かれた場所で、夢を叶える方法

～思いのチカラ、行動のチカラ～

参加費 6,000 円

（懇親会費含む。講演会までのみは2,000 円。オンライン参加は無料）

今回は現地参加とオンライン参加のいずれかで参加できる

ハイブリッド形式で開催します。



2021新春例会PR

水の問題、迅速解決!!

もう、水まわりの心配はさせません。

017-766-2421

ART DESIGN

エアイサイン

Call 0172-62-5508 Fax 62-5516

Office T.038-1331 青森市浪岡女園沢西花岡52-1

URL <http://www.ai-sign.com> MAIL ai.sign@info.com.ne.jp



(有) 山道葬儀造花店
代表取締役 山道 雄也 氏
青森市古川3丁目15-17
電話：017-776-7785

今回お話を伺ったのは、青森支部山道葬儀造花店・代表取締役の山道雄也君です。私と山道社長は（公社）青森青年会議所で一緒に過ごした仲間なので今回は敢えて山道君と呼びたいと思います。

（有）山道葬儀造花店は昭和8年（1933）に山道君のお祖父様が創業しました。今年で創業87年、3代目の社長が山道君です。当時市役所の葬祭課に勤めていたお祖父さんがそこを訪れる生活保護受給者や収入の少ない人、お葬式を出すことが難しい人に安価で葬儀をしてあげたいという思いで始めたそうです。その後創業者が亡くなった後はお祖母様が引き継ぎ、葬儀と花壇を中心に営んでいたそうです。

山道君は札幌の大学を卒業したのち平成13年に山道葬儀造花店に入社します。先代から色々なことを学び平成23年に代表取締役となりました。山道君のお父さんは警察官でしたが平成19

年に退職してからは会社のことも手伝ってもらい助けてもらったそうです。山道葬儀造花店といえど、私も友人から「昔お金がないときにおばあちゃんに助けてもらった」という声も聞かれています。地域の人に寄り添い、暖かく見送ってもらえたというのをよく耳にします。その祖母から山道君がい

つも言われていたことは「真心、親切、丁寧」を心掛けるようにと。当たり前のことだが忘れてはならないと何度も何度も言われたそうです。

葬儀のやり方も時代とともにずいぶん変わったそうです。入社当時、祭壇は造花がメインで道が始まった生花祭壇が青森にも入ってきた。葬儀にお金をかける人が多くなったそうです。かつては公民館や自宅、町内の人伝へてもらい行われていた葬儀もホールで行うことが主流になってきました。そこで葬儀屋さんもホールを建て葬儀会場として貸していくようになり

ました。青森市でもいくつかの葬儀屋さんが次々とホールを建て、事業を継続した反面、ホールを建てられず廃業した葬儀社もあったそうです。山道葬儀造花店のホール、葬儀式場「ミヅ

ホールやまみち」は平成24年1月にオープンしました。代表取締役になった一年目でのこの決断にはとても勇気と覚悟が必要だったと思います。

そしてまた時代は流れ、今度は家族葬や直葬などという言葉が通じます。山道君は地域とのつながりが薄れたために、このような葬儀形態が増えたのでは、と話していました。それに追い打ちをかけるかのような新型コロナウイルス。現在は葬儀を家族だけで済ませ、ご焼香だけで帰っていただくのが主流だそうです。法事などの会食もできず、低予算化の加速が止まらないそうです。

そうした直面している問題について山道君に考えを聞いたところ、コロナの収束後も簡素化した葬儀のやり方は元には戻らないだろうとのこと。外注していた部分を自社で行ったり、会社組織として働きやすい環境にしたり、社員からも、お客様からも選ばれる会社になっていきたいと話してくれました。そしていざいざは、青森市内の西と東にもご遺族をサポートする場所を作りたいという目標も話してくれました。

人の死を扱う、特殊で辛い仕事。大往生の家族を見送るとき、急な死を受け止めなければいけないとき、それぞれに状況や思いが異なるご遺族と向き合うのは、とても大変なことだと思います。そのために社員の皆様にはご遺族を気遣う気持ちで寄り添っていかうと話しているそうです。



葬儀の際、ご住職の話などでよく「ご縁」という言葉を耳にします。山道君とは、仕事でのご縁、青年会議所での一緒に過ごしたご縁、同友会でもまた一緒に学べるご縁、今回取材をさせてもらったご縁に本当に感謝しています。そしてこの記事を読んでくださった皆様との、ご縁にも感謝したいと思います。ありがとうございます。

記・鹿内 麻矢



ニッポンの店をよくしたい

MADO ショップ

株式会社 堀久留

〒031-0804 青森県八戸市青森三丁目32-17
TEL 0178-43-1192 FAX 0178-43-1104

MADO ショップは、納品できる
盛り場・ホームの近所です。

KD 有限会社 カワシタ電業

電気工事 消防施設の設計、施工

むつ市中央2丁目21-1
TEL.0175-29-5611

※秋山経理白からの掲載「アゲハチョウの夜」

Welcome to DOYU!

新会員紹介

株式会社 KASAKO 【津軽支部】



代表取締役 小坂 春樹

顧客福祉サービス事業「就労移行支援事業所 株式会社 KASAKO」において、障がいのある方の職業訓練を行い、就職支援活動を目指しています。

〒038-1331 青森県青森市南大字西沢字野原 20-103
TEL/FAX: 0172-78-3294
URL: <https://kasako.aomori.jp/>

株式会社 ホープ 【津軽支部】



代表取締役 相馬 寿美

食料、化粧品に使える国産を販売していますので、よろしくお願ひします。

〒038-1213 青森県津軽郡藤崎町大字下字滝本 05-1
TEL: 0172-69-5538 FAX: 0172-69-5539

株式会社 磯漁舎 【下北支部】



代表取締役 相馬 純子

むつ市と東通村で漁師の道を営んでおります。津軽海産の獲れたての魚介をご紹介下さいます。

〒035-0113 青森県下北郡東通村大字若原字往来 123 番地
TEL: 0175-31-0582 FAX: 0175-31-0583

(同) ナチュラル青森 【青森支部】



代表社員 工藤 真義

弊社はプリン、のり、乾菜、乾菜を運営しております。是非、お立ち寄りくださいませ。

〒030-0823 青森県青森市橋本 2 丁目 19-13
TEL: 017-752-1857 FAX: 017-752-1858
URL: <https://nature-aomori.com>

(福) 義栄会 月見野作業所 【青森支部】



管理者 今村 健

障害福祉サービスの中で主に就労支援サービスとして、スーパーのレジ係や清掃やサイクリング作業を行っています。おに生きる障がい者雇用委員会にも参加してがんばっていきなさいと思います。

〒030-0954 青森県青森市南大字月見野 916-1
TEL: 017-742-3004 FAX: 017-742-3002
URL: <https://www.tsukimino.org/>

南平成運送 【上十三支部】



業務部長 橋本 優輔

運送・引越サービス、宅配物運送、人材派遣

〒030-3215 青森県上北郡六ヶ所村大字森内字坂崎 869-1
TEL: 0175-74-2343 FAX: 0175-74-2137

Rings 【青森支部】



代表 河北 真緑

施設活性化、社内研修、施設等での音楽ライブ、イベント、ワークショップの企画運営を行っています。
大人から子どもまで学びたい、学ぶ機会が日常に「を」合はる、人々人とつながり、心が豊か、笑顔に立ち会うことこそRingsの目標です。

〒030-0964 青森県青森市南田 2 丁目 5-6

SUSHI DINING JIN 【青森支部】



代表 神 政義

料理人としての誇り、揚げたての天ぷらが、おまかせ価格で楽しめる寿司屋です。

〒030-0901 青森県青森市新町 2 丁目 1-11 EST ビル 1 階

オレンジハート 平内中野店 【青森支部】



代表 山崎 功造

コンビニエンスの店内を、おにぎりと全製造しています。

〒030-3371 青森県津軽郡平内町大字中野字坂分 9-13
TEL/FAX: 017-755-5413

岩館りんご園 【八戸支部】



副代表 岩館 岳

八戸で 60 年以上続くりんご園です。

〒031-0023 青森県八戸市南川田 14-11
TEL: 0178-99-1573 FAX: 0179-39-0366
URL: <http://www.applewadoke.com/>

大塚製薬 (株) 青森出張所 【青森支部】



部長 平野 真之

弊社は「オースケムスケアカンパニー」として「世界の人々の健康に貢献する、なくてはならない」企業を目指しています。地域や社会、お客様に於ける健康増進と向き合い、福祉に於ける取り組みを提案させていただきます。

〒030-0112 青森県青森市ハッポウ字天神 73-4
TEL: 017-739-6815 FAX: 017-739-6063
URL: <https://www.ohtsuka.co.jp/>

八戸ペイント 株式会社ナカ工業 【八戸支部】



代表取締役 田中 雅章

船艇や、遊覧・観光でお出掛けの際は「おにぎりの健康な笑顔の八戸ペイントへ！」

〒030-1188 青森県八戸市東郷 7 丁目 1-1
TEL: 0178-20-7317 FAX: 0178-20-7317
URL: <https://www.hachinohe-paint.com/>

髪師ジバンゴ 【八戸支部】



代表取締役 黒沢 誠一

社風とお客との距離を縮める、接客術・美容室を 3 店舗経営。

〒034-0031 青森県十和田市東三番町 3-53
TEL: 0176-23-2250
URL: <http://nake-company.com/jpang>

會津塗装 【青森支部】



代表 會津 久志

創業以来の伝統は 10 年に 1 回のリニューアルで施工しております。業界は知しでも長持ちします様にシリコン及びUV塗料をおすすめ致します。

〒038-0042 青森県青森市南大字山田 222-643
TEL: 017-788-3914 FAX: 017-757-8095

随時 会員募集中!

*** 編集後記 ***

コロナ渦の中で、ZOOM を活用したりリモートでの経営研究集会が開催され快事終了しました。同友会活動も外部環境の変化により新しい形に少しずつ変化してきています。皆様の会社でも同様に変化が始まっていると思います。こういう状況だからこそ会員の皆様の役に立つ情報を発信していけるよう頑張ります!

株式会社 ローズリー資源 <http://www.rozure.com/>
廃棄物業・総合リサイクル業

本 社 〒030-0955 青森県青森市大字新田字沢沢 5-303
TEL: 017-744-0575 FAX: 017-744-0579

南部支店 〒039-1524 青森県三戸郡五戸町大字豊内字地蔵平 1-578
TEL: 0178-38-9294 FAX: 0178-38-9295